

## 議 事 録

[illegible]

## 1. あいさつ

令和2年度、自殺者数が増えたと。特に数でいうと男性が女性の2倍ある中で女性の増加というのが大きく取り上げ得られました。これはコロナの影響というふうに言われておりますけれども厚生労働省の分析を見ても原因が複合的で経済的な問題だけでもないというところが見られます。

やはりいろんな要素が絡まってご生活しづらさに繋がっていくと思いますので、地域で見守るとか支え合うとか声をかけあうとかそういうところが大事なのではないかというふうに感じております。ぜひこの委員会が自殺者を減らすというふうに働くことができればというふうに思いますのでよろしくお願いします。

## 2. 議 題

(1) コロナ禍における状況について

(資料2) 令和2年岩倉市自殺者数(暫定)

(資料3) コロナ禍における自殺の動向に関する分析(緊急レポート)

(資料4) 地域自殺実態プロファイル2020

※資料に基づき事務局説明

委員長：ここまででお気づきの点、令和2年度において変化があった点についてお願いします。

委員：こころの健康相談というところでいうと6月から月2回に増やして実施しておりますけども、当初はコロナに関連して家庭内の状況などの相談が増えました。今までにない状況でしたが、緊急事態宣言が明けた今は以前と変わらない相談になってきています。

委員：気づくというよりもこれだけの人が自殺でなくっていることを全く知らなかったことが驚きです。活動の中ではコロナ禍の中で直接会ってはいけないので、電話や、街中で会えるときに、街中で会って話をしました。

委員：最近は高齢者の相談が多いです。特に65歳以上の方が多いですが、70歳や75歳の方も多く見えています。若い人もいますが高齢者の方が非常に目立つのが特徴です。感染症が流行りはじめのころは人も減った。ハローワークとしても郵送での手続きや電話での相談対応などを行いました。

委員長：高齢者の方も生活費のことも含めてなるべく働きたいという状況でしょうか。

河合委員：まだ元気に働けるということで、ずっと家の中にいるよりも外で働きたいという気持

ちがあるという流れを感じました。

委員：3か月の臨時休校明けで子どもたちは元気に登校してきたのですが、教員の方が色々な負担を感じていて、ケアが必要になると感じました。

委員：名古屋のほうへ用事で出かけることがあります、緊急事態宣言明けてからやっぱり人が増えていて、緊張感が解けてしまったのかなと思います。お友達でご主人が亡くなったひとがいますが、少し元気がなかったりして心配していました。

委員：これまでの生活を続けられない。色々な意味で弱い人にしわ寄せがいつてしまっている。私自身死ぬつもりはないけれど、生きていて意味があるのかと思うことがある。生きる気力を出さなければならない。特に女性の自殺が増えていることから、集まれる場所があるのかなと思います。

委員長：大学の方でも夏休みまでは非常に不安定な開講で学生の方もどうなるのだろうというようにところを相当心配しました。そんな中で少しずつでも動かしていくようなことを見せる、それに合わせて動くということなので、先が少し見える、こういうふうなことから可能だというように伝えていくことも大事なかなと思いました。その地域の集まりも例えば一つのグループだったのを、二つに分けるとか、時間変えるとか私の地域ではそんなことをしておりますので、そういったところで少しでも再開していくのが、大事なのかなというふうに思っております

議題1はここまでとする。

## （２）令和２年度計画推進進捗報告について

（資料５）自殺対策計画進捗確認シート（基本施策）

（資料６）自殺対策計画進捗確認シート（重点施策）

※ 資料に基づき事務局説明

委員長：何かご意見等がございますか

委員：大切な人を亡くした人への支援ということですけど私が見守り活動をしている人に、2年ぐらい前にご主人を亡くされて、本当に見るからにも弱々しくて。ちょっと前までは、近所の方と一緒に五条川を散歩していたのだけど、それもままなくなっていて本当に行くところがない中で、大切な人を亡くされた会、参加されて本当に、行ってよかった、元気づけられたっていうことを言ってくれました。本当に有意義な取り組みだということを思いました。

別件ですけれどサロンの関係で、地域の方と健康体操とか、おしゃべりサロンで、みんなが集え

るものを体操ですと月に2回、おしゃべりサロンですと2ヶ月に1回やっていました。でも、やれなくなってしまって、そのうちにいつとき岩倉で感染者数が増えたときにも私たちも怖くなってしまって、波はあるけどもしここで1人でも出たらどうするのっていうことでしばらくお休みをしました。2月3月お休みしていて街中で会うと次いつやってもらえるのとか、4月からまたやるからお願いねって言うと、楽しみにまっているわって言ってくださる。皆さん本当に地域の活動をすごく楽しみにしていることをひしひしと感じております。

委員：勤務しているクリニックの話になりますが、来院される人はお休みをせずに来ていました。キャンセル料を取らないようにして治療が継続するようにしました。コロナの悩みは殆どの方が悩まれていました。

委員：生活困窮者が増えています。愛知なら仕事があるだろうということで、北海道から愛知へ仕事を探しにきている人もいます。

委員：各種委員会を持って情報交換を学校内で行っているというようなことは確実に行ってしまし、学期に必ず特に中学校ですと定期相談という形で担任と子どもたち一人一人と相談活動をして、何か日頃の悩みとか子どもたちの状況を把握することは心がけています。自傷行為の傾向が見られる子も、全体の中で注意深く見て対応していました。もうそれも見られないようになってきて改善に向かったということで非常に良かったなというふう思っております。それから人権意識を高めていくようなことに取り組んできたことで、それを基本にしながら日頃からそういう意識を高めていけるといいのかなと思っています。

委員：一人暮らしの人の把握が出来ていないと感じる。ご主人を亡くして一人暮らしになっているお友達がいるが、そういう行政の支援につながっていないで、寂しい思いをしています。

事務局：一人暮らし認定は本人の申請になります。人によっては元気なので、いらないという方もいらっしゃる。心配な時は地域包括支援センター等に連絡して頂いて、近所を回った際についでに声をかけてもらうようなことができます。

委員：地域の中で見守るつながりを作る、見守れる場所があるといいと思います。

委員長：地域の方を受け入れる体制ができていることが大事。少し行ってみようかな、誘ってみようかなという、そんな関係が地域でできると支え合いができるじゃないかなというふうに思っています。先ほど話にあった、それでも1人がいいという方もいらっしゃる。そういうふうに言われてまた民生委員さんもちよっと近寄り難いかもしれませんが包括等も含めて見守るっていうふうなところで、大事ななと思います。最初の資料2のところで見見日のほうの2月に発見され

たということは多分これ前の年にお亡くなりになって発見されてなかった。ここまで発見されないということも普段の活動ですね。あとは町内会活動の中でも気軽な声かけというところから地域作りができるといい。

あとこの計画の庁内の分野を超えたネットワークの構築のところで断らない相談体制があります。高齢者、障がい者区切らずにご相談のってくれるようなところで、特に若い人の相談窓口があまりはっきりしてないという印象です。ちょうどご紹介いただいたハローワークだと就職先を探すというところから、若い人の支援ということですが、福祉のほうでいくとなかなか若い人の相談がしにくいというようなところもあるので、この断らない相談体制というのが一つ自殺対策の方でも柱になっていくのではないかなというふうに思います。

議題2はここまでとする。

### （３）今後の計画の推進について

事務局：事業について何かご意見があれば、参考にしていきたいので是非何かあればお願いしたい。来年度の委員会については、変化の激しい状況なので、上半期と下半期にそれぞれ一回ずつ行いたい。

委員長：来年度の事業でこれという事業は何かあるか。

事務局：進捗が悪い職員のゲートキーパー研修の受講者を増やしていきたい。また、今年度は縮小して行ったので広く市民向けにも行いたい。

議題3はここまでとする。

委員長：本日の委員会はここまでとする。